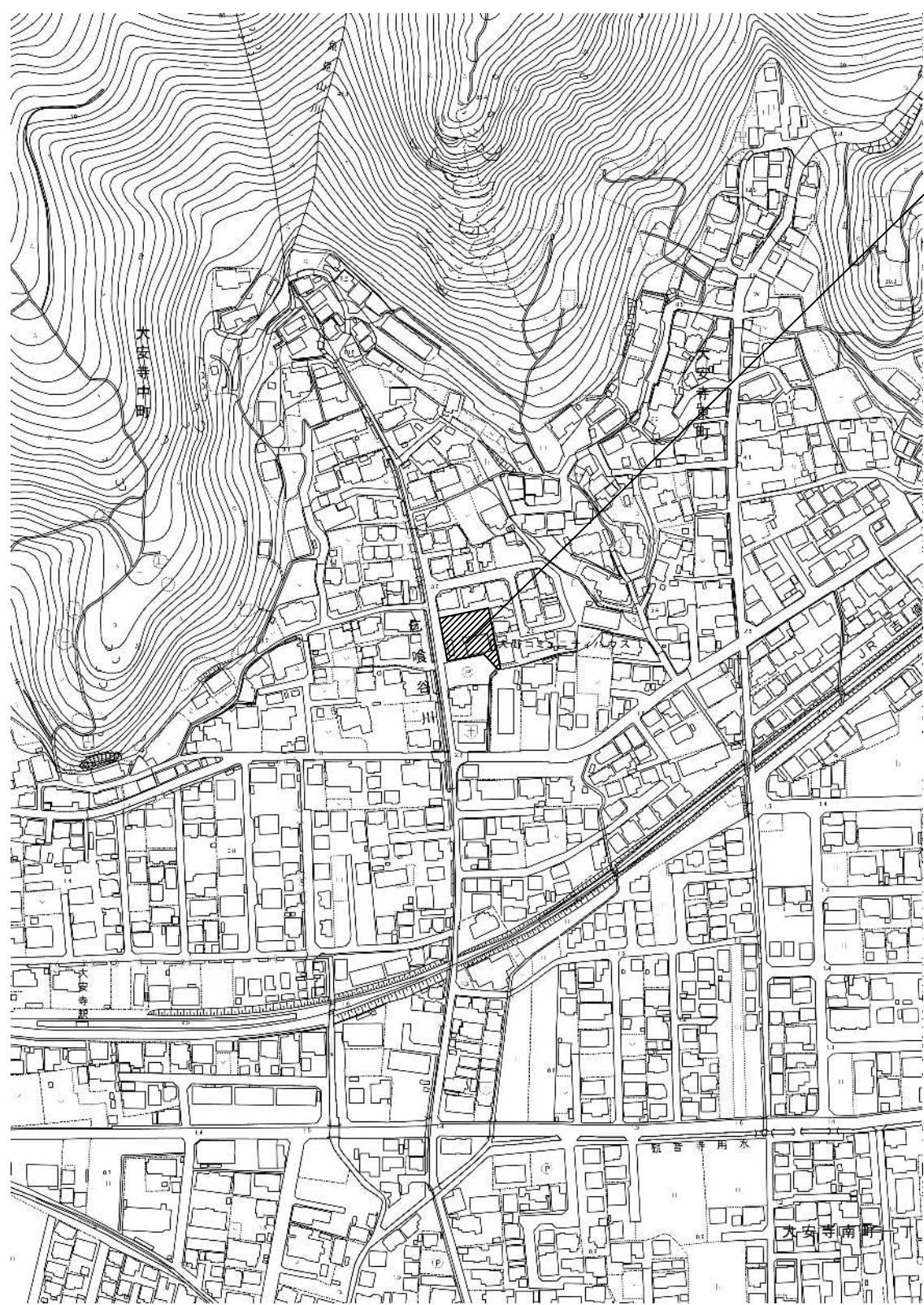


令和8年度

岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事



工事場所:岡山市北区大安寺東町23番21号



図面リスト

図 番	図 名	縮 尺	備 考
A-01	表紙, 図面リスト, 附近見取図	1/2,500	
A-02	建築改修工事特記仕様書 1		
A-03	建築改修工事特記仕様書 2		
A-04	建築改修工事特記仕様書 3		
A-05	建築改修工事特記仕様書 4		
A-06	建築改修工事特記仕様書 5		
A-07	建築改修工事特記仕様書 6		
A-08	建築改修工事特記仕様書 7		
A-09	外壁改修仕様書		
A-10	平面図・屋根伏図(改修前・改修後)	1/100	
A-11	立面図(改修前・改修後)	1/100	
A-12	仮設計画図(参考)	1/100	

附近見取図 S = 1 : 2,500

工事名	岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事					図面番号
図名	表紙, 図面リスト, 附近見取図					A-01
岡山市都市整備局 住宅・建築部					令和8年3月	縮尺
						1/2,500
公共建築課	担当課長	主幹	課長補佐	係長	係員	設計担当

岡山市建築改修工事特記仕様書				
Ⅰ. 工 事 概 要				
工 事 名 称		岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事		
工 事 場 所		岡山市北区大寺町23番21号		
敷 地 面 積		858.01㎡		
棟 名 称／構 造		コミュニティ2棟 木造		
施 工 条 件		・無人改修 ○有人改修 ・無人改修 ・有人改修 ・無人改修 ・有人改修 ・無人改修 ・有人改修		
床 面 積 (㎡)		1階 106.4 2階 93.16 階 階 階 小 計 199.56 合 計 199.56		
建築面積 (㎡)		134.14		
消防法施行令第第一区分		1項(口)		
建蔽率 (指定率)		15.6% (60 %)		
用途地域		第1種中高層住居専用地域 防火地域 ・準防火地域 ○指定なし		
工 事 範 囲		防水改修工事 塗装改修工事 外壁・樋改修工事		
別 途 工 事				
Ⅱ. 建築改修工事仕様				
1. 共通仕様				
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という。）又は国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「建築物解体工事共通仕様書（令和7年版）」による。				
(2) 「岡山市内の建築物等における廃棄物等の利用促進に関する方針」に基づき、コスト等を勘案の上、県産材等の利用に努めること。				
2. 特記仕様				
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する				
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する				
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する ○印と※印のついた場合は共に適用する				
(3) 項目に記載〔 〕の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。				
() の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。				
(4) G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品等を示す。				
(5) 関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。				
(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。				
(7) 「監督職員」は「監督員」と読み替える。				
章		特 記 事 項		
一般共通事項				
①	① 適用基準等	※建築工事標準詳細図（令和4年版） （以下「標準詳細図」という） ※営繕工事写真撮影要領（令和5年版）		
	② 工事実績情報の作成・登録について	登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。 なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録兼登録するものとする。		
2	電気保安技術者	配置する		
	③ 施工条件	・施工時間帯 ※指定なし ・指定あり（ ） ・施工ができない日等 ※指定なし ・指定あり（別添「学校行事に伴う施工ができない日等（予定）」に基づく監督職員と協議するものとする） ・部位別の施工順序 ※指定なし ・指定あり（・図示 ） ○工事車両の駐車場所（※図示 ） ○資機材置場（※図示 ） ・建設発生土仮置場（※図示 ）		
4	工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）に基づき、工事の施工に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する		
	⑤ 発生材の処理等	・引渡しを要するもの（ ） ・特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ・再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・せっこうボードの処理 ・石綿含有せっこうボード 9章による ・ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・製造業者に回収委託 ・埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ）所在地（ ） ・石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード ・再生資源化（再生資源化施設） ・最終処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ）所在地（ ） ・PCB含有シーリング材の処理 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇所 計 箇所 ・除去処理工事 除去範囲 ※図示		
⑥	環境への配慮	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する品質及び性能を有すると共に、次の1）から4）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、亜紙、接着剤、保護材、経腐材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3）接着剤は、付着剤（フタル酸ジエチルエステル及びフタル酸ジエチルエステルを含む含有しない難燃発泡性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。 4）1）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外に該当する建築材料		

7 材料の品質等	
[1. 4. 2～5]	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量 第三種に該当する建築材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
1）本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）本工事に使用する材料のうち、3）に指定する材料の製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等の写し）を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （3）安定的な供給が可能であるもの （4）法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得しているもの （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （6）販売、保守等の営業体制が整えられているもの。（なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられているもの） 3）製造業者等に関する資料の提出を定める材料 床型枠用鋼製デッキプレート 錠前類 煙突用成形ライニング材 鉄骨柱下無収縮モルタル クローザ類 天井点検口 無収縮グラウト材 自動扉機構 床点検口 乾式保護材 自閉式上吊り引戸機構 グレーチング 重量シャッター 軽量シャッター トップライト 既設合モルタル オーバーヘッドドア 屋上緑化システム ルーフドレン 防水剤 ポリマーセメントモルタル 取水調整材 現場発泡断熱材 既設合目地材 可動間仕切 フLOORアセスフロア 鉄鉄製ふた 移動間仕切 トイレブース	
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法によるものとする。	
⑧ 石綿含有建材の事前調査	
[1. 5. 1]	
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、改修の作業に係る全ての材料について、設計図書等の文書を確認する方法及び目視により確認する方法により石綿等の使用の有無について事前調査し、調査結果を監督職員に提出する。 なお、事前調査で石綿の使用の有無が明らかにならなかった場合は、分析による調査が必要になるため、監督職員と協議するものとする。 調査範囲（※工事範囲 ・図示 ） 賃料と資料（ ）	
⑩ 施工数量調査	
[1. 6. 2]	
調査範囲 ※外壁（庇、笠木等）、軒裏等の建物外周部及び屋内の梁、階段裏等の見上げ面 ・図示 （※塗装改修の範囲内 ・塗装改修の範囲外を含む全工事範囲 ） 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 調査は、建物外周部のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無及び屋内見上げ面等の浮きの位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行うものとする。 屋根調査は、既存の防水層、シーリング材充填部、とい、笠木等及び下地の劣化状況を確認する。 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表及び写真を添えて監督職員に2部提出するものとする。	
11 調査のための破壊部分	
[1. 6. 3]	
12 技能士	
[1. 7. 2]	
工事種目 技能検定職種 技能検定作業	
仮設工事 とび ・とび作業	
防水改修工事 防水施工 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンフォーム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法 防水工事作業 ・FRP防水工事作業	
かわらぶき ・かわらぶき作業	
外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 ・樹脂接着剤注入工事作業 左官 ・左官作業	
タイル張り ・タイル張り作業	
建具改修工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ガラス工事作業 自動ドア施工 ・自動ドア施工作業 ガラス用フィルム施工 ・建築フィルム作業	
内装改修工事 建築大工 ・大工工事作業 建築板金 ・内外装板金作業 ・鋼製下地工事作業 内装仕上施工 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上工事作業	
表装 ・壁装作業 左官 ・左官作業	
タイル張り ・タイル張り作業	
塗装改修工事 塗装 ・建築塗装作業 鉄筋組立作業	
耐震改修工事 型枠施工 ・型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業 鉄工 ・構造物鉄工作業 とび ・とび作業	
環境配慮改修工事 配管 ・建築配管作業 路面表示施工 ・溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ－工事作業 造園 ・造園工事作業	
適用した技能士について地域性を考慮し確保が困難な場合は監督職員と協議する。	
13 化学物質の濃度測定	
[1. 7. 10]	
図示した室のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ① 30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 ② 5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。 ただし、送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として2.4時間とする。ただし工程等の都合により、2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④ 分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤ その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による。	

19 完成写真				
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。				
撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画像数及び画質	撮影者
外部（ ）箇所 内部（ ）箇所	カラー印刷紙 ・キャビネリ ・L判 ・電子データ（JPEGフルカラー圧縮率1/4程度）		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承認する撮影業者
外部（ ）箇所 内部（ ）箇所	カラー印刷紙 ・キャビネリ ※L判 ※電子データ（JPEGフルカラー）	3 3	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
撮影部位は監督職員の指示による 電子データは、CD－R等で提出する				
完成図（CADデータの提出（※要・不要）） 保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部） 提出書類の詳細については、別途、完成図作成要領による				
19 完成時の提出図書				
[1. 9. 1～3] [表1. 9. 1]				
19 施工図及び施工計画書				
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする				
17 設備工事との取合い				
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける				
19 撤去部分				
コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする				
19 はつり工事等における非破壊検査				
※はつり工事やスリット工事を行う施工前調査において、非破壊検査が必要と考えられる場合は、監督職員との協議により、非破壊検査を実施すること。 ※検査方法としては電磁誘導法を原則とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、監督職員との協議による。				
20 適用区分				
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力風速 $V_0 = \frac{m}{s}$ 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ 積雪量 建築基準法施行令第88条第3項の規定に基づく岡山市建築基準法施行細則による数値				
21 工事区分				
工事区分表による				
② 仮設工事				
1 騒音・粉じん等の対策				
[2. 1. 3]				
騒音パネル、 防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・				
② 足場その他				
[2. 2. 1]				
・内部足場の種類 ※脚立、足場板等 ・ ・外部足場の範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ・防護シートの範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ・材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 ※足場を設ける場合は、改修標準仕様書2. 2. 1（2）、（5）による。				
③ 既存部分の養生				
[2. 3. 1]				
既存部分の養生方法 ※ビニルシート等 ・ ・既存部分における既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・ 養生方法 ※取外し再取付 ・ 保管場所 ※構内既存施設内 ・ ・固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※行う（図示） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。				
4 仮設間仕切り				
[2. 3. 2]				
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 ・ 仮設間仕切りの種類と材質等				
種類	仕上り（厚さmm）	塗装	充填	
・A種	※せっこうボード 種類（※GB-R ・ ） 厚さ（※9.5mm ・ ）	※無し ・片面 （JIS A6301）53x4吸音材32K厚50mm	※行う （図示） 行わない	
※B種	・合板 材種（※普通合板 ・ ） 厚さ（※9mm ・ ）			
・C種				
仮設扉 ※木製（合板張り程度） ・				
※設けない ・設ける ・既存建物内の一部を使用する（場所： ） ・構内に新設する 備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする				
⑤ 監督職員事務所				
[2. 4. 1]				
⑥ 工事用水				
⑦ 工事用電力				
③ 防水改修工事				
1 降雨等に対する養生方法				
[3. 1. 3]				
※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。 ・				
2 既存防水の処理				
[3. 1. 4] [3. 2. 3、4、6]				
既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 既存防水層の撤去 ・行う（範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X） ・行わない				
⑤ 既存下地の処置				
[3. 2. 6]				
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 ・ POS工法及びPOSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(7)(g)①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する ・				
4 アスファルト防水				
[3. 1. 4]				
[3. 3. 2～3、5]				
屋根保護防水 防水層の種類				
[表3. 3. 3～10]				
工 法	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3		※8'12'12'12'48L 厚さ0.15mm以上 又は750'12'12'12'48L 70g/㎡程度	・乾式保護材 ・コラーシ押え
・P1B	・B-1 ※B-2			・
・P2AI	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3	(材質) JIS A 9521による押出流 出 5'12'12'12'12'48L断熱材3種b A（スキン層付き） (厚さ) (mm) ※25 -50	※750'12'12'12'48L (70g/㎡程度)	※JIS R 1250 ・
・P1BI	・B1-1 ※B1-2			
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表3.3.3 から 表3.3.6 による				

5 改質アスファルトシート						
防水						
[3. 1. 4]						
[3. 4. 2、3]						
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表3.3.3 及び 表3.3.4 による 平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上						
防水立上り部の保護 ※乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの 寸法 厚さ (mm)： 、幅 (mm)： 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの 寸法 厚さ (mm)： 、幅 (mm)： ・れんが						
屋根露出防水 防水層の種類						
工 法	種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射長 射率防水	備考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・ ・製造所の仕様	・適用する	
・M3D ・P0D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・ ・製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設けない 改修用ﾄﾝﾄﾝ ・設ける ・設けない
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2 ・M4D1		(材質) JIS A 9521(建築用断熱材)に基 づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※縦割のレタランフォーム断熱材 2種2号 (厚さ) (mm) ※25 -50	・ ・製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾝﾄﾝ ・設けない
改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表3.3.7 から 表3.3.9 による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表3.3.8 から 表3.3.9 による 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・						
屋内防水						
改修工法		種 別		施工場所		
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2					
E-1の場合で工程3を行う部位（※防水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ） 保護層 ・設ける（※図示 ・ ） ・設けない 立上り部の押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・ 屋上排水溝 ・図示 ・						
屋根露出防水 防水層の種類						
工 法	種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射長 射率防水	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・ ・製造所の仕様	・適用する	
・M3AS ・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・ ・製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾝﾄﾝ ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・AS1-T1 ・AS1-J1		(材質) JIS A 9521(建築用断熱材)に基 づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※縦割のレタランフォーム断熱材 2種2号 (厚さ) ※25mm ・50mm	・ ・製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾝﾄﾝ ・設ける ・設けない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ 脱気装置の種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ 脱気装置の設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ (個) 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・ 絶縁断熱工法の防水湿シート ・設置する ・設置しない						
工事名		岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事			No.	
図面名		建築改修工事特記仕様書 1			A-02	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年3月			承認	
課長		課長補佐	係長	課員	担当書	検閲
						製図

6	合成高分子系 ルーフィングシート防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 6. 2～4〕	防水層の種類				[表3. 9. 1]					
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧耐圧 耐歩防水	備考			
		・POS ・S4S	・S-F1			種類	使用量	・	脱気装置 ・適用する ・捨けない		
			・S-F2			・製造所 の仕様	・適用する ・捨けない				
			・S-M1			・適用する ・捨けない					
			・S-M2			・適用する ・捨けない					
			・S-M3			・適用する ・捨けない					
		・M3S	・S-F1			・	・	・適用する ・捨けない			
			・S-F2			・製造所 の仕様	・適用する ・捨けない				
		・M4S	・S-M1			・	・	・適用する ・捨けない			
・S-M2 ・S-M3	・製造所 の仕様		・適用する ・捨けない								
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1			・	・	・適用する ・捨けない					
	・SI-F2			・製造所 の仕様	・適用する ・捨けない						
	※改修標準仕様書3.5.2 (3) (2) (b)による (種類) ※緩質ウレタンフォーム 断熱材2種2号による ・			・	・	・適用する ・捨けない					
	(厚さ) (mm) ・25 ・50			・	・	・適用する ・捨けない					
	・SI-M1 ・SI-M2			・	・	・適用する ・捨けない					
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様・軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防漏用フィルムの設置 ※設置しない・設置する S1-M2の絶縁用シートの場合 ※発泡ポリエチレンシート・ S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※接着工法（立上り面のシートの厚さ1.5mm・）・機械的固定工法 接着工法の脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様・ 既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理 目地処理・行う（・図示・）・行わない 入隅部の増張り（S-F1、SI-F1の場合）・行う（・図示・）・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 20 適用区分による風圧力に対応した工法を施工計画書として提出するものとする。 ※適用する（1章 20 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・適用しない											
7	塗膜防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 6. 2～4〕	防水層の種類				[表3. 6. 1～表3. 6. 3]					
		工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高圧耐圧 耐歩防水	備考				
		・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		※2成分形シリコン樹脂系・ふっ素樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・適用する （図）	脱気装置 ・捨ける ・捨けない			
			・L4X			※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H	※主材料の製造所の仕様	・適用する （図）	脱気装置 ・捨ける ・捨けない		
						・P1Y	※Y-2			保護層 ・捨ける ・捨けない	
		・P2Y	※Y-2			保護層 ・捨ける ・捨けない					
		X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類		※主材料の製造所の仕様・							
		X-1（絶縁工法）の脱気装置の設置数量		※主材料の製造所の仕様・（個）							
		8	シーリング 〔3. 1. 4〕 〔3. 7. 2〕 〔3. 7. 4～7〕	シーリング改修工法の種類				[表3. 1. 2]			
				・シーリング充てん工法	・拡幅シーリング再充てん工法						
○シーリング再充てん工法	・ブリッジ工法										
・ボンドブレイカー張り	・適用する ・適用しない										
・エッジング材張り	・適用する ・適用しない										
シーリング材の種類、施工箇所											
下表以外は、改修標準仕様書 表3. 7. 1による											
施工箇所				シーリング材の種類（記号）							
外壁目地及び建具廻り						MS-2					
仕上を行わない施工箇所											
・図示による・打継目地											
シーリング材の目地寸法		※改修標準仕様書3. 7. 3(1)による									
シーリング材の試験											
接着性試験		※簡易接着性試験	・引張接着性試験	・行わない							
との材料		・配管用鋼管	○緩質ポリ塩化ビニル管	・							
ルーフトレン											
種別		施工箇所									
・ろく度根用（・縦型・横型）											
・バルコニー用											
・バルコニー中継用											
とい受け金物及び足金物の材料、形状及び取付け間隔											
※改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの											
多雪地域		・適用する ・適用しない									
防露材のホルムアルデヒド放数量											
※F☆☆☆☆											
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法		※図示・									
鋼管製の防露蓋き		※改修標準仕様書表3.8.4による									
たてい受金物の取付け		※図示・									
ルーフトレンの取付け		※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填									
9	とい 〔3. 8. 2、3〕	アルミウム製窓木				[3. 9. 2～3]					
		種類	・押出形（・押出250形・押出300形・押出350形） ・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式） 本体幅（mm）板厚（※2.0mm・mm） 表面処理 種別（）種 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による） 着色（※標準色・特注色（）） 既存窓木等の撤去・行う（範囲・図示・） ・行わない 下地補修の工法 ※図示・ 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示・ 窓木の固定金具の工法等 1章 20 適用区分による風圧力に対応した工法 ※適用する（1章 20 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・適用しない								
		防水改修フロー及び数量		・既存保護層の補修及び処理							
		防水面調査（施工数量調査）									
		ひび割れ部補修		欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修（図示に利用する場合）			
		アスファルト防水（幅200mm未満）		ポリマーセメントモルタル補修	ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水（幅200mm未満）	ポリマーセメントモルタル補修			
		ポリマーセメントモルタル補修		ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水（幅200mm未満）	ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修			
		ポリマーセメントモルタル補修		ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水（幅200mm未満）	ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修			
		ポリマーセメントモルタル補修		ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水（幅200mm未満）	ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修			
		ポリマーセメントモルタル補修		ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修	アスファルト防水（幅200mm未満）	ポリマーセメントモルタル補修	断熱材の上、ポリマーセメントモルタル補修			
10	ポリマーセメントモルタル 〔4. 2. 2〕	（品質・性能）									
		項目	品質・性能								

6

網戸等

[5. 2. 3] [5. 3. 3]

種類

材質

線径

網目

・防虫網

※合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス (SUS316) 製

※0. 25mm以上

※16～18メッシュ

・防鳥網

ステンレス (SUS304) 線材

1. 5mm

網目寸法15mm

7

樹脂製建具

[5. 3. 2～4]

性能値等
・耐風圧性の等級 ()、機械性の等級 ()、水密性の等級 ()
※改修標準仕様書表5. 3. 11による種別
外部に面する建具
・A種 (建具符号) 全て ・建具表による ()
・B種 (建具符号) 全て ・建具表による ()
・C種 (建具符号) 全て ・建具表による ()
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する (等級 ・T-1 ・T-2) ・適用しない (建具符号 ・建具表による)
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する (等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 ・建具表による) ・適用しない
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※建具表による
表面色 ※標準色 ・特注色
取付工法
水切り板、ぜん板 ※図示
ガラス ※複層ガラス

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・A-3
水密性の等級 ・W-1
外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
くつずりの仕上げ
ステンレス鋼板を用いる場合 ※H L以上
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5. 4. 2による () 使用箇所 ()

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板

区 分	材 質
鋼板	※差船めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
召合わせ板、小口包み板、押縁	※鋼板

ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ ※改修標準仕様書表5. 5. 11による () 使用箇所 ()
防音性能を求める () (建具表による)
防音充填材 (・グラスウール ・ロックウール)

8

鋼製建具

[5. 2. 2]
[5. 4. 2～4]

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板

区 分	材 質
鋼板	※差船めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
召合わせ板、小口包み板、押縁	※鋼板

ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ ※改修標準仕様書表5. 5. 11による () 使用箇所 ()
防音性能を求める () (建具表による)
防音充填材 (・グラスウール ・ロックウール)

9

鋼製軽量建具

[5. 2. 2]
[5. 5. 2～4]

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板

区 分	材 質
鋼板	※差船めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
召合わせ板、小口包み板、押縁	※鋼板

ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ ※改修標準仕様書表5. 5. 11による () 使用箇所 ()
防音性能を求める () (建具表による)
防音充填材 (・グラスウール ・ロックウール)

10

ステンレス製建具

[5. 2. 2]
[5. 4. 2]
[5. 6. 2～5]

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板 (屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
鋼板 (屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
表面仕上げ ※H L仕上げ ・磨面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (・a角 ・b角 ・c角)

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板 (屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
鋼板 (屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
表面仕上げ ※H L仕上げ ・磨面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (・a角 ・b角 ・c角)

11

鍵

[5. 8. 4]

マスターキー ・製作する (組) ・製作しない ・既存に相込む
鍵筒 ・設ける (組) ・設けない (組) ・設けない

12

自動ドア開閉装置

[5. 9. 2～3]

引き戸用駆動装置
性能 ※改修標準仕様書表5. 9. 1 による
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ・DSDL-2
車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能 ※改修標準仕様書表5. 9. 2 による
引き戸用検出装置の種類 [表5. 9. 1～6]
※光線 (反射) センサー ・電波センサー ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー
・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所操作スイッチの種類
・大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
取付位置 ・床面 ※天井面 ・壁面 ・無目
戸の開閉方式 ※建具表による
防錆 ・適用する ・適用しない
凍結防止措置 ・適用する ・適用しない

性能等 ※標準仕様書表5. 10. 1による ()

13

自閉式上吊り引戸装置

[5. 10. 3]

性能等 ※標準仕様書表5. 10. 1による ()

14

重量シャッター

[5. 11. 2～5]

種類 ・管理用 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・防煙
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 [表5. 10. 1]
安全装置
電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
設置箇所 ・建具表による
電動シャッターの障害物感知装置
設置箇所 ・建具表による
屋内用防火シャッター又は防煙シャッターの危害防止装置
設置箇所 ・建具表による
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量 ※Z12又はF12を満足するもの
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ()

15

軽量シャッター

[5. 12. 2～4]

開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) [表5. 11. 1]
耐風圧強度 () Pa
安全装置 (電動シャッター)
・急降下停止装置
設置箇所 ・建具表による
※障害物感知装置
設置箇所 ・建具表による
スラットの材質の種類
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量 (※Z06又はF06)
・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量 (※AZ90)
スラットの形状 ・インターロック型 形 ・オーバーラッピング形

16

オーバーヘッドドア

[5. 13. 2～3]

セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ
風圧力による強さの区分 ・175 ・125 ・100 ・75 ・50
開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式
収納方式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・バーチカル形
ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス製 (SUS304) 厚さ2. 0mm

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による ()
・合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス	・I 類 ・II-1 類
・熱線吸収、フロート板合わせガラス		・II-2 類 ・III 類
・網入合わせガラス	・網入り、フロート板合わせガラス	・I 類 ・II-1 類
・網入り、熱線吸収合わせガラス		・II-2 類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロートガラス	※フロート強化ガラス	・I 類 ・II 類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	※熱線反射強化ガラス	
・複層ガラス		

断熱性による区分	乾燥気体の種類	日射取得性、日射遮蔽性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	・空気 ・7kg/㎡	・G ・S

・熱線反射板ガラス

材料板ガラスによる種類	色 調
※熱線反射ガラス	・ブルー ・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ ・シルバー

種 類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・1 類	A 種	
・高性能反射板ガラス	・2 類	・A 種 ・B 種	
	・3 類	B 種	

反射皮膜 ※内面 ・外面
映像調整 ※行わない ・行う

材料板ガラスによる種類	性能による種類	厚さによる種類
・熱線吸収フロート板ガラス	・1 種 ・2 種	※建具表による
・熱線吸収網入り磨面板ガラス		

17

ガラス

[5. 14. 2]

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板

区 分	材 質
鋼板	※差船めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
召合わせ板、小口包み板、押縁	※鋼板

ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ ※改修標準仕様書表5. 5. 11による () 使用箇所 ()
防音性能を求める () (建具表による)
防音充填材 (・グラスウール ・ロックウール)

18

ガラス留め材

[5. 14. 2]

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板 (屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
鋼板 (屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
表面仕上げ ※H L仕上げ ・磨面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (・a角 ・b角 ・c角)

性能値等 (建具符号： ・建具表による)
簡易気密型 ・適用する ・適用しない
外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
断熱ドア (G)、断熱サッシ (G) の断熱性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
耐震ドアの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級 () ・適用しない
鋼板 (屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
鋼板 (屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1
表面仕上げ ※H L仕上げ ・磨面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (・a角 ・b角 ・c角)

19

ガラスブロック積み

[5. 14. 5]

表面形状
呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 クリア 乳白 平積み 曲面積み
・160 x 160 ・95 ・ ・ ※8～15 ※標準仕様書5. 10～25 ※なし
・正方形 ・200 x 200 ・95 ・ ・ 14. 5 (2) (a) ② 10～25 ・あり
・ ・ ・125 ・ ・ ・ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示による)
力骨 ※ステンレス鋼 (SUS304) 径φ 5mmはしご形状複筋及び単筋 ・
目地部の力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による
化粧目地モルタルの色 ()
シーリングの種類 ()
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 アルミニウム製
寸法 ・図示による
形状 ・図示による
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による
工法 1章 20 適用区分による風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法

名 称	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	※内張り ・外張り	飛散防止率95%以上
・		

品質 JIS A5759による

20

ガラス用フィルム

名 称

張り面

性能値

※ガラス飛散防止フィルム

※内張り ・外張り

飛散防止率95%以上

・

品質 JIS A5759による

21

付属電気設備

自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0. 4 KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び逆相用コンデンサーを設置する

22

木製建具

[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・
建具内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・フラッシュ戸
表面材の化粧の品質等

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※70%程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)	
・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・ブリット ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類)	
・ミディアムデンシティファイバーボード (M D F)	表面の状況による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()	

23

内装改修工事

1 他部分との取合い等 [6. 1. 3]
・既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・図示
・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・図示
・既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示
※既存のまま ・図示

2 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]
ビニルシート等の撤去 ※仕上材のみ (接着剤とも)
・下地モルタルとも (・図示の範囲 ・撤去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修部の端部より1 m程度 ・図示

3 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]
間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修
※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※図示)

4 製 材 [6. 5. 2]
ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 1083-5 に基づく下地用製材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	保存処理
			※2 級		※A 種 ・B 種	
			・			
			※2 級		※A 種 ・B 種	
			・			

・JAS 1083-2 に基づく造作用製材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	保存処理
見え掛り面			※上小節		※A 種 ・B 種	
見え掛り面以外			※小節以上		※A 種 ・B 種	
			・			

・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	保存処理
			※2 級		※10%以下	
			・		・A 種 ・B 種	
			※1 等		※10%以下	
			・		・A 種 ・B 種	

・JAS 1083 (製材) 以外の製材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			()	・適用する	※A 種
			造作材の場合 (※A 種 ・B 種)	・適用しない	・B 種
					・

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 1152 に基づく造作用集材材 (G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質
					※1 等 ・2 等

・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集材材 (G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質

・JAS 1152 以外の造作用集材材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下
				※15%以下

・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集材材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
					※15%以下
					※15%以下

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 07011に基づく造作用単板積層材 (G) [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級：)	・適用する () ・適用しない

5

造作用集材材

[6. 5. 2]

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 1152 に基づく造作用集材材 (G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質
					※1 等 ・2 等

・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集材材 (G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質

・JAS 1152 以外の造作用集材材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下
				※15%以下

・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集材材 (G)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
					※15%以下
					※15%以下

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 07011に基づく造作用単板積層材 (G) [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級：)	・適用する () ・適用しない

6

造作用単板積層材

[6. 5. 2]

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 07011に基づく造作用単板積層材 (G) [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級：)	・適用する () ・適用しない

7

合板等

[6. 5. 2]

・JAS 07011以外の造作用単板積層材 (G)

施工箇所	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	含水率
		・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()	・適用する () ・適用しない	※14%以下

・JAS 3079に基づく直交集積板 (G)

施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板		・A 種構成 ・B 種構成	・A ・B ・C		

ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・JAS 0233に基づく普通合板 (G) [6. 5. 2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用
	※5. 5 ・1 級		・1 類 ・2 類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-0以上	・適用する () ・適用しない

・JAS 0233に基づく構造用合板 (G)

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理の適用 (強度等級)	曲げ強度	保存処理
	※2級以上 ・1 級		・1 類 ・特類	※C-0以上	※12 () ・適用する () ・適用しない			

※屋外または常時湿潤状態となる場所に使用する場合、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 (G)

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			・1 類 ・特類	・適用する () ・適用しない

※屋外または常時湿潤状態となる場所に使用する場合、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233に基づく天然木化粧合板 (G)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1 類 ・2 類	・適用する () ・適用しない

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 (G)

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用
			・F ・W ・SW	・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・適用する () ・適用しない

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード (G)

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
			※13タイプ	※P又はH		※15

・JAS 0360に基づく構造用パネル (G)

施工箇所	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	寸法 (mm)
	・1 級 ・2 級 ・3 級 ・4 級	

・JIS A 5905に基づくM D F (G)

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい
※改修標準仕様書表6. 5. 3 に示す程度の市販品 ・図示
座金
※改修標準仕様書表6. 5. 4 に示す程度の市販品 ・図示
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書表6. 5. 5 に示す程度の市販品 ・図示
接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・

8

接合具等

[6. 5. 3]

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい
※改修標準仕様書表6. 5. 3 に示す程度の市販品 ・図示
座金
※改修標準仕様書表6. 5. 4 に示す程度の市販品 ・図示
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書表6. 5. 5 に示す程度の市販品 ・図示
接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・
・

9

防腐・防蟻処理

[6. 5. 5]

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K 2 ※K 3 ・K 4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法
	※改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②～④による ・ ※改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②④～⑥による ・ ※改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②④⑥～⑧による ・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ()

工事名

岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事

N o .

図面名

建築改修工事特記仕様書 3

A-04

岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課

令和8年3月

課長 課長補佐 係長 係員 担当者

承認 検閲 製図

10

軽量鉄骨天井下地

[6. 6. 2~4]

野縁等の種類

屋外（※25形 ） 屋内（※19形 25形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

1章 20 適用区分による風圧力の（・1 1.15 1.3）倍の風圧力に対応した工法

野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 図示 図示 図示

周辺部の端からの間隔 図示 図示 図示

野縁の間隔 図示 図示 図示

既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない

あと施工アンカーの確認試験

・行う（試験箇所数 ※埋込の場合、当該箇において3箇所 ）
（確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4.(1)(9)による ）

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示 図示 図示

・天井のふとこが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示 図示 図示

・天井の地下材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※高さ6mを超える天井 図示 図示

補強方法 ※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第3第2項第二号に適合させる。
図示

11

軽量鉄骨壁下地

[6. 7. 3, 4]
[6. 7. 1]

スタッド、ランナの種類

※改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4.(5)による ・

12

ビニル床シート、
ビニル床タイル及び
ゴム床タイル

[6. 8. 2]
[6. 8. 3]

ビニル樹脂系材料の原材料

再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15％以上使用されているもの

・ビニル床シート(G)

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※発泡層のないもの	※F S ・T S	・無地 ・マーブル ・特殊柄	※2. 0 ・2. 5	・実付け ※熱溶接
・発泡層のあるもの	・H S ・K S	・無地 ・マーブル ・柄物	・	・実付け ・熱溶接

※接合部の処理（工法 ※熱溶接工法 ・） ・

・ビニル床タイル(G)

種類	種類の記号	色柄	寸法	厚さ（mm）
※接着形	・F T ・T T ・G T	・無地 ・マーブル ・特殊柄	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2. 0 ・2. 5 ・3. 0
※置敷形	・F O A ・F O B			

・特殊機能床材（帯電防止）(G)

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	備考
・帯電防止シート	・F S ・	・	・2. 0	帯電防止性能評価値（JIS A1455） 1. 2以上～3. 2未満
・帯電防止床タイル	・F O A ・F O B	・	・	又は体積電気抵抗値（JIS A1454） 1×10 ⁷ ～10 ¹⁰ Ω程度

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
・誘導用床材、注意喚起用床（表面形状 JIS T9251）		・300×300 ・400×400	※塩ビ ・合成ゴム ・合成ゴム	・黄色 ・
・				

ビニル幅木の長さ（mm） ※6 0 ・7 5
厚さ（mm） ※2. 0
材質 ※軟質 硬質

13

接着剤

[6. 8. 2]、[6. 11. 5]
[6. 13. 2]、[6. 14. 2]
[6. 16. 4]

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

14

カーペット敷き

[6. 9. 2] [6. 9. 3]

・タイルカーペット(G)

バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5	

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号（呼び厚さ8mm） ・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示 図示

15

合成樹脂塗床

[6. 10. 2] [6. 10. 3]

・弾性ウレタン樹脂系塗床材 [6. 10. 1. 1]

仕上りの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂系塗床材 [6. 10. 1. 2]

工法 ・薄膜流しのべ仕上げ ・厚膜流しのべ工法 樹脂モルタル工法

仕上りの種類 ・平滑仕上げ ・防汚仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

16

防じん用塗床

材質 水性アクリル系樹脂塗材

仕上の種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ（※標準色 ・）

工法 製造所の指定する工法とする

上塗りは2回塗りとし、乾き塗布量は0. 2 5kg/㎡以上とする

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

17

フローリング張り

[6. 11. 2~6]

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
種類、工法

・単層フローリング（・70-リグ'ギ'1等 ・70-リグ'ギ'1等） 樹種 ※なら ・

・釘どめ工法（・根木張り ・直張り） ・接着工法

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.1、3、5による ・

※複合フローリング 樹種 ※なら ・ヒノキ ・

・釘どめ工法（・根木張り ・直張り） ・（A種 ・B種 ※C種）

・接着工法（・A種 ・B種 ※C種）

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.2、4、6による ・

仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス ・オイルステイン塗りのうすワックス ・生地のままワックス
間伐材等の適用 ※適用する ・適用しない

間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10％以上であること

居室の内装材にあつては、ホルムアルデヒド放散量（J A S規格による測定方法）が平均値で0. 3 mg/L以下かつ最大値で0. 4 mg/L以下であること

18

可動間仕切り

(20. 2. 3)

J I S A 6 5 1 2によるほか、下記による

構造形式による種類 ※スタッド式（・スタッド露出 ・スタッド内蔵）・スタッドパネル式

構成基材の種類 ※図示による

パネル表面材質及び厚さ（mm） ※鋼板0. 6 ・鋼板0. 8 ・

仕上げ メラミン樹脂樹液又はアクリル樹脂樹液（※常備品 ・指定色）

パネル総厚さ（mm） ・ mm程度

遮音性（d b） ・0 ・1 5程度 ・3 0程度 ・3 6以上

防火性能 ・不燃 ・

19

せつこうボード
その他ボード及び
合板張り

[6. 13. 2]

M D F及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆ ・

種類	JISの 記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・中質毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25 ・
・普通毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通木片セメント板	NF	・30 ・
・けい酸カルシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ2（無石種） ・6 ・8 ・
・化粧けい酸カルシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ2（無石種） ・6 ・8 ・ 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系樹液付 ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（・9（不燃） ・12（不燃） ・） ・凹凸タイプ（・12（不燃） ・15（不燃） ・）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25 ・
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25（ガラスクロス包） ・
・せつこうボード	GB-R	※12. 5（不燃） ・15（不燃） ・
・不燃積層せつこうボード	GB-NC	9. 5（不燃） ・化粧なし（下地張り用） ・化粧あり（トラバーチン模様）
・シージングせつこうボード	GB-S	12. 5（※不燃 ・準不燃）
・強化せつこうボード	GB-F	・12. 5（不燃） ・15（不燃） ・
・せつこうラスボード	GB-L	9. 5
・化粧せつこうボード （トラバーチン模様）	GB-D	9. 5（準不燃）
・普通合板		単板の樹種名： 生地、透明塗料塗（※ラワン程度 ・） 不透明塗料塗（※しな程度 ・）
・天然化粧合板		板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ） 接合の程度（・1類 ・2類 ） 樹種名（ ） 接合の程度（・1類 ・2類 ） 厚さ（mm）（ ）
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接合の程度（・1類 ・2類 ） 厚さ（mm）（ ）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による厚さ（※1. 2 ・）
・ポリエステル樹脂化粧板		
・メディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張り パーティクルボード		・無研磨板 V N ・研磨板 V S ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ D V ・プラスチックオーバーレイ D O ・塗装D C ・10（難燃） ・12（難燃） ・
・ハードボード（素地）	HB	・無研磨板（・スタンダード ・テンバード R N） ・研磨板（・スタンダード ・テンバード R S）
・ハードボード（化粧）		・内装用D I ・外装用D E ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7 ・
・インシュレーションボード	IB	A級（・天井仕上げ ・内装仕上げ） ・9 ・12 ・15 ・18 ・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による

合板の張付け ・A種 ・B種

目地工法の種類とせつこうボードのエッジの種類

目地処理の種類	張り方	せつこうボードのエッジの種類
・継目処理	・直張り ・上張り	・オーバーエッジ ・ペベルエッジ
・突付け	・直張り ・上張り ・下張り	・スクエアエッジ
・突付け目地	・直張り ・上張り	・ペベルエッジ
・目通し	・直張り ・上張り	・ペベルエッジ ・スクエアエッジ

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類	防火性能
	・紙 ・繊維 ・塩化ビニル ・プラスチック ・無機質 ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃
	・紙 ・繊維 ・塩化ビニル ・プラスチック ・無機質 ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃

モルタル・せつこうプラスター面の素地ごしらの種類 ※B種 ・

コンクリート面の素地ごしらの種類 ※種別 ・

せつこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらの種類 ※B種 ・

20

壁紙張り

[6. 14. 2]

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類	防火性能
	・紙 ・繊維 ・塩化ビニル ・プラスチック ・無機質 ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃
	・紙 ・繊維 ・塩化ビニル ・プラスチック ・無機質 ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃

モルタル・せつこうプラスター面の素地ごしらの種類 ※B種 ・

コンクリート面の素地ごしらの種類 ※種別 ・

せつこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらの種類 ※B種 ・

21

モルタル塗り

[6. 15. 3. 5. 6]

モルタル ※現場調査材料 ・既調合材料（材料 ）
既製目地材 ・貼ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・）
 ・貼けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験
・適用する ・適用しない

壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による

建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤
（品質性能等）

防水剤の種類は建築物のモルタルに用いるセメント防水剤とする

膨張性のひび割れおよびそりが無い（J I S R 5 2 0 1規定10）

混合割合 セメント重量の5％以下（J I S A 1 4 0 4）

吸水比 9 5％以下（J I S A 1 4 0 4）

透水性 8 0％以下（水圧は2 9 4 k P aとし1時間行う）

凝結時間（J I S R 5 2 0 1規定9）発熱1時間以内、終結10時間以内
曲げ及び圧縮強度比 7 0％以上（J I S A 1 4 0 4）

22

セメントモルタルによる
タイル張り

[6. 16. 3]

伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4mm以内ごと ・図示 ・）
床タイル以外（※図示 ・）

23

有機系接着剤による
タイル張り

[6. 16. 4]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料 の適用	吸水率による区分 1類 2類 3類 4類 5類 6類 7類 8類 9類 10類 11類 12類 13類 14類 15類 16類 17類 18類 19類 20類 21類 22類 23類 24類 25類 26類 27類 28類 29類 30類 31類 32類 33類 34類 35類 36類 37類 38類 39類 40類 41類 42類 43類 44類 45類 46類 47類 48類 49類 50類 51類 52類 53類 54類 55類 56類 57類 58類 59類 60類 61類 62類 63類 64類 65類 66類 67類 68類 69類 70類 71類 72類 73類 74類 75類 76類 77類 78類 79類 80類 81類 82
------	---------------	-------------	--

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ※行わない

見本焼き ・行う ※行わない

壁タイル張りの工法

内壁タイル ・密着張り ・改良圧着張り

内壁タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4mm以内ごと ・図示 ・）
床タイル以外（※図示 ・）

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料 の適用	吸水率による区分 1類 2類 3類 4類 5類 6類 7類 8類 9類 10類 11類 12類 13類 14類 15類 16類 17類 18類 19類 20類 21類 22類 23類 24類 25類 26類 27類 28類 29類 30類 31類 32類 33類 34類 35類 36類 37類 38類 39類 40類 41類 42類 43類 44類 45類 46類 47類 48類 49類 50類 51類 52類 53類 54類 55類 56類 57類 58類 59類 60類 61類 62類 63類 64類 65類 66類 67類 68類 69類 70類 71類 72類 73類 74類 75類 76類 77類 78類 79類 80類 81類 82
------	---------------	-------------	--

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ※行わない

見本焼き ・行う ※行わない

有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

床厚（mm） ※10mm程度 ・

24

セルフレベリング材塗り

[6. 17. 2~3]

室内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

防火材料 ※壁内の壁、天井仕上げは防火材料とする （ ）
 ・次の箇所を除き防火材料とする（ ）

25

下地調整、素地ごしらえ

[7. 2. 1~7] [7. 3. 2~7]

塗装工程別がR B種の場合の既存塗層の除去範囲

※劣化部分は除去し、落層部分は残す ・

下地面の種別	塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合	※RB種 ・ ・ ※A種 ※B種	— —
鉄鋼面（DP以外）	※RB種 ・	※C種 —	—
鉄鋼面（DP）	※RB種 ・	※B種 —	—
亜鉛めっき面（鋼製建具等以外）	※RB種 ・	※A種 ※B種 —	—
亜鉛めっき面（鋼製建具等）	※RB種 ・	※B種 —	—
モルタル面、せつこうプラスター面	※RB種 ・	※A種 ※B種 ・行う	・行う
コンクリート面（DP以外）	※RB種 ・	※B種 ・	・行う
A L Cパネル	・RA種 RB種 RC種	・A種 ・B種 ・行う	・行う
押出成形セメント板面（DP）	・RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・行う	・行う
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・行う	・行う
せつこうボード面、その他ボード面	※RB種 ・	・A種 ※B種 —	—

錆止め塗装処理の種別

塗装面	塗料の種類	工程の種別
鉄鋼面	SOP	新規見え掛り ・A α種 ※A種 ・ 新規見え隠れ ・A α種 ※B種 ・ 塗替え ・A α種 ※C種 ・
EP-G	新規見え掛り ・A α種 ※B α種 ※A種 ・ 新規見え隠れ ・A α種 ※B α種 ※B種 ・ 塗替え ・A α種 ※B α種 ※C種 ・	
新規	7.4.2(1) (イ) (a)による	・A種 ・ ・A種（下地調整RA種） ・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
亜鉛めっき鋼面	SOP	新規鋼製建具等 ※A α種 ・B α種 ※A種 ・ 新規その他 ※B α種 ※B種 ・ 塗替え ※A α種 ・B α種 ※C種 ・
EP-G	新規鋼製建具等 ・C α種 ※A種 ・ 新規その他 ・C α種 ※B種 ・ 塗替え ・C α種 ※C種 ・	
DP	新規 ・B α種 — 塗替え ・B α種 —	— —

塗装の種類

塗装の種類	塗装面	塗替え	新規
・合成樹脂塗合ポイント塗り（S O P）	・木部屋外 ※B種 ・ ・木部屋内 ※B種 ・	※A種 ・ ※B種 ・	— —
塗料の種類 ※1種 ・2種	鉄鋼面 ※B種 ・ ・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外） ・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※B種 ・ ※A種 ・ ※B種 ・	— — —
・クリアラッカー塗り（C L）	木部 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	— —	— —
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（N A D）	木部 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	— —	— —
○耐候性塗料塗り（D P） 上塗り等級	鉄鋼面 — 上塗り等級（1）級 亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（1）級 コンクリート面及び 押出成形セメント 板面	— 	

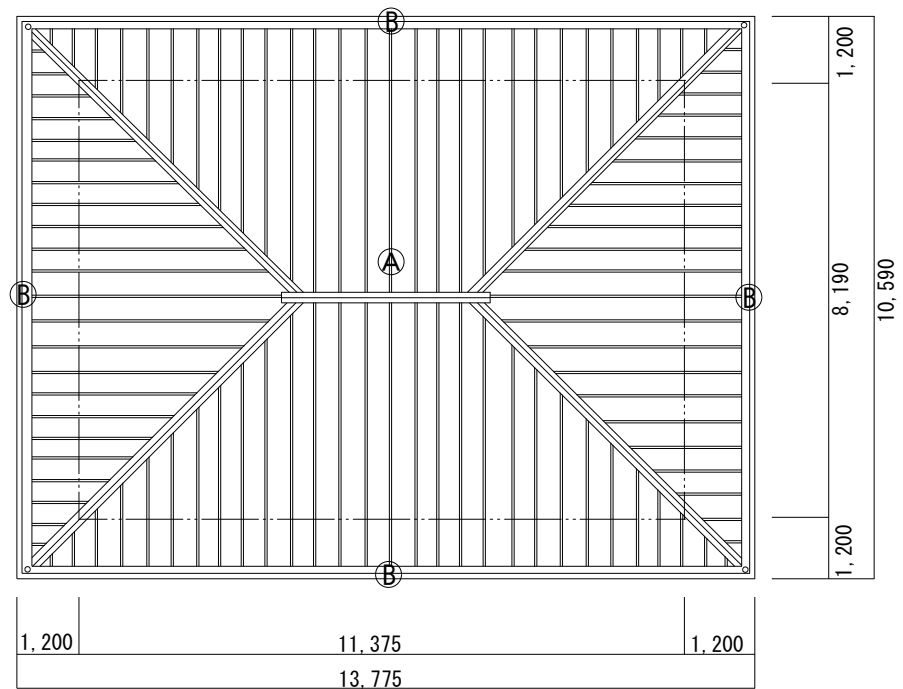
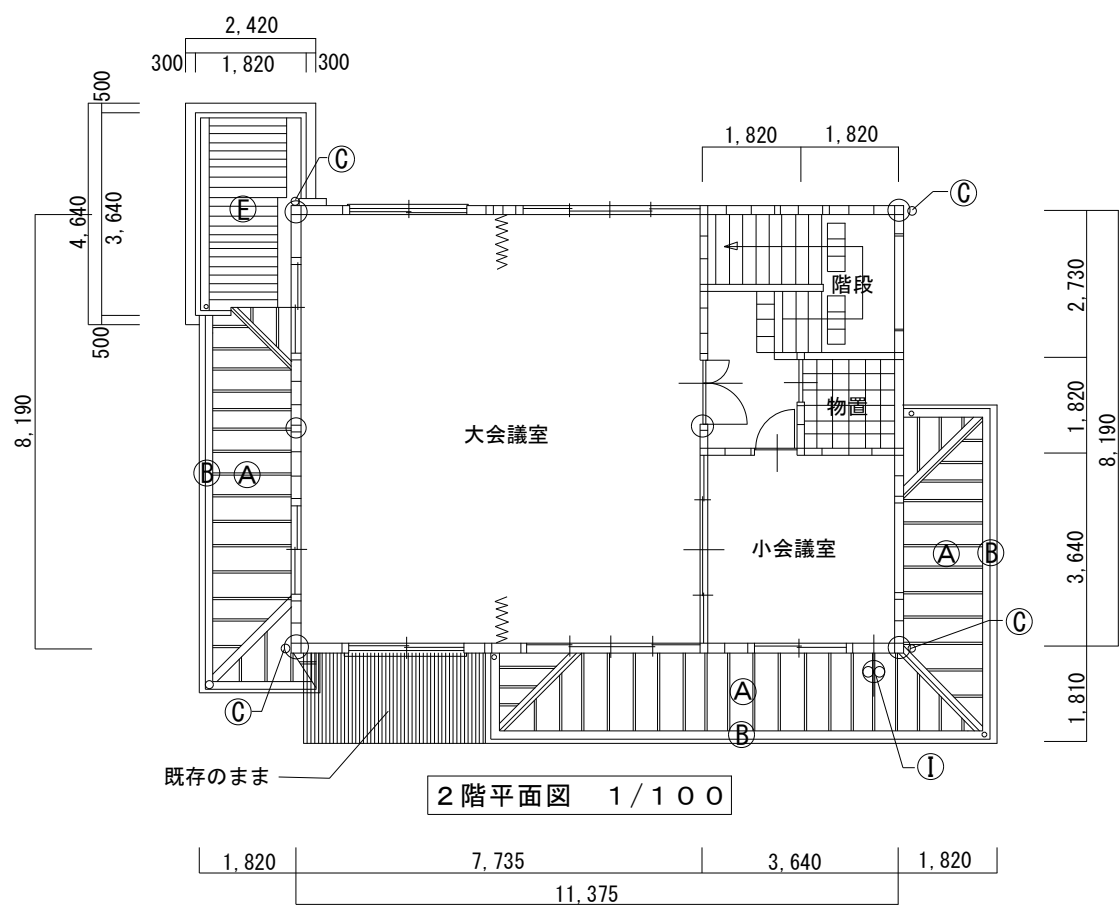
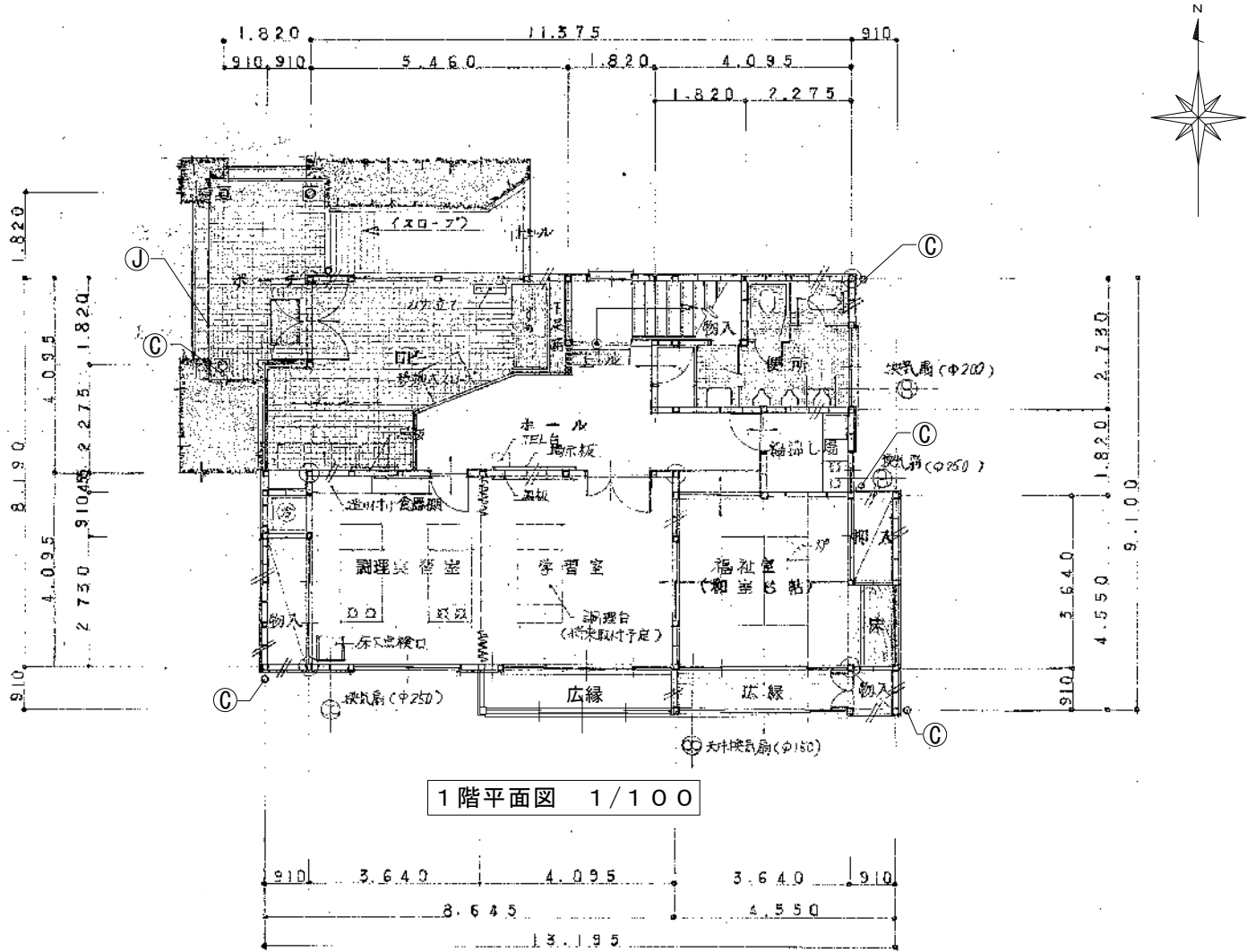
[illegible]

仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程
A-1仕様 (打放し面 表面劣化部 処理)			① 既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ 中性化回復材塗布 (塗布量：400g/m2程度) ④ 塩害防除材塗布 (塗布量：300g/m2程度) ⑤ 劣化防止層形成（ポリマーセメントペースト） コテ塗り ⑦ 1. 5±0. 5mm	B-2仕様 モルタル面 錆鉄筋部処理 (パクレツ 部補修)			① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 錆落し ④ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ⑤ 中性化回復材塗布 (塗布量：メーカー仕様による) ⑥ 防錆処理（ポリマーセメントペースト） ⑦ エポキシ樹脂モルタル充填	B-6仕様 (欠損部処理) 研り工法			① 欠損部撤去 ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ 中性化回復材塗布 (塗布量：400g/m2程度) ④ 埋め戻し・整形 (樹脂モルタル) *施工部位* 劣化部共通 ⑤工程整形は角を含む場合とする。
A-2仕様 (モルタル面 表面劣化部 処理)			① 高圧水洗浄（圧力30～50MPa） ② しごき処理（セメントフィラー） コテ塗り ⑦ 1. 0±0. 5mm	B-3仕様 (モルタル面 防水モルタル面 タイル面 浮き部処理) アンカー ピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			① 削孔（一般部16ヶ所/m2 指定部25ヶ所/m2） ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ注入（全面接着） ④ アンカーピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し（ポリマーセメントモルタル） *施工部位* 劣化部共通	C-1仕様 (モルタル面 防水モルタル面 入研面 ひびわれ部 処理) リカット シール材 充填工法			① ひびわれ部Uカット処理 ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ プライマー塗布・シーリング材打設 ④ 埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) (別途A-2仕様に含む) *施工部位* 劣化部共通
A-3仕様 (防水モルタル面 表面劣化部 処理)			① 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ② しごき処理（セメントフィラー） コテ塗り ⑦ 1. 0±0. 5mm	B-4仕様 (モルタル面 防水モルタル面 浮き部処理) アンカー ピンニング 全面注入工法			① アンカー（一般） 1本/m2 (指定部) 20本/m2 ② 削孔（一般） 1ヶ所/m2 (指定部) 20ヶ所/m2 ③ エポキシ注入（全面接着） ④ ステンレスピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し（ポリマーセメントモルタル） *施工部位* 劣化部共通	C-2仕様 (モルタル面 防水モルタル面 入研面 ひびわれ部 処理) 自動式低圧 エポキシ樹脂 注入工法			① エアークリーニング ② 高圧水洗浄（圧力30～50MPa） ③ 注入器具・台座取付（シール共） ④ エポキシ注入 ⑤ 座金・シール除去 *施工部位* 劣化部共通
B-1仕様 (打放し面 錆鉄筋部 処理)			① 錆鉄筋周囲の研り ② 錆落し ③ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量：400g/m2程度) ⑤ 塩害防除材塗布 (塗布量：300g/m2程度) ⑥ 防錆処理（ポリマーセメントペースト） ⑦ 埋め戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑧ 整形 ⑨ 劣化防止層形成（ポリマーセメントペースト） コテ塗り ⑦ 1. 5±0. 5mm *施工部位* 劣化部共通 ⑧工程は角を含む場合とする。	B-5仕様 (モルタル面 浮き部処理) 研り工法			① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量：400g/m2程度) ⑤ 研り部埋め戻し・整形 *施工部位* 劣化部共通 ⑤工程整形は角を含む場合とする。	D仕様 (モルタル面 浮き部処理) ピンネット工法			① 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ② プライマー塗布 ③ フィラー下塗り ④ ネット ⑤ アンカーピン掘削・打込（4ヶ所/m2） ⑥ フィラー上塗り ⑦ 仕上塗材 *施工部位* 劣化部共通

※ クラック補修：0.4mm～1.0mm
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
1.0mm以上
Uカットシール充填工法
鉄筋露出部においては、防錆措置の上、エポキシ樹脂モルタル充填工法

注）外壁改修を行う部分は、目視・打診による工事部分の事前調査を行い、マーキング・計測・図面作成し、監督員と協議の上、施工すること

工事名		岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事			No.		
図面名		外壁改修仕様書			縮尺	A-09	
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年3月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

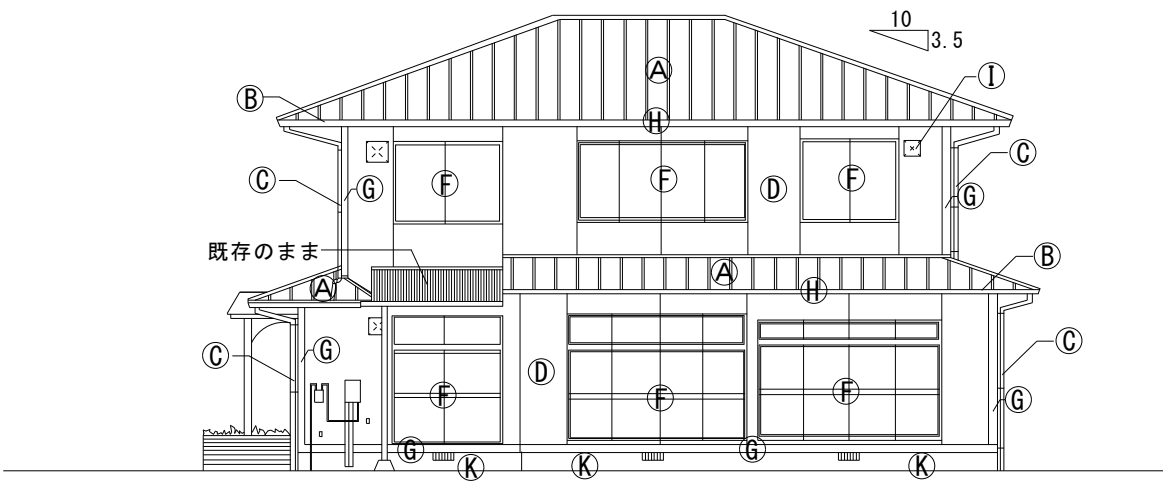


符号	対象箇所	屋外改修内容 仕上表【改修前】	屋外改修内容 仕上表【改修後】
Ⓐ	大屋根・下屋根	カラーベスト屋根の上、長尺カラー鋼板t0.5 瓦棒葺きカバー工法(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
Ⓑ	軒樋	オリエンタルタル 芯材φ0.4m/m (既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
Ⓒ	竪樋	塩ビVUφ75・φ60カー 撤去・処分 掴み金物共	塩ビVPφ75・φ60カー 新設 エルボ・掴み金物@1,100共
Ⓓ	外壁	ラスモタル刷毛引き アクリルシ吹付(既存のまま)	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE(アクリル系)吹付 ひび割れ補修：Vカットシーリング 変成シリコン系シーリングMS-2補修
Ⓔ	玄関庇	屋根：ルーフデッキ カラー鉄板φ0.6m/m(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
		箱樋：オリエンタルタル 芯材φ0.4m/m (既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
		パラペット・柱：ステンレス板φ2m/m(既存のまま)	高圧洗浄15Mpaによる水洗い
		天井：カラーアルミスパンドレルφ0.8m/m(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、DP塗装
Ⓕ	建具廻り	目地部：既存コーキング 撤去・処分	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、DP塗装
Ⓖ	付土台・付柱・付梁	木製0.P(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、WP塗装
Ⓗ	鼻隠し・破風板	木製0.P(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、WP塗装
Ⓘ	換気フード	南面2階東側のみ撤去・処分1箇所(その他は既存のまま)	SUS製 300角 1箇所(南面2階東側のみ新設 その他は既存のまま)
Ⓙ	玄関ポーチ床	段鼻タイル100角 (既存のまま)	一部剥がれ箇所 タイル補修
Ⓚ	基礎立上り	コンクリート基礎 色モタルくし目仕上げ	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、撥水材塗料塗り

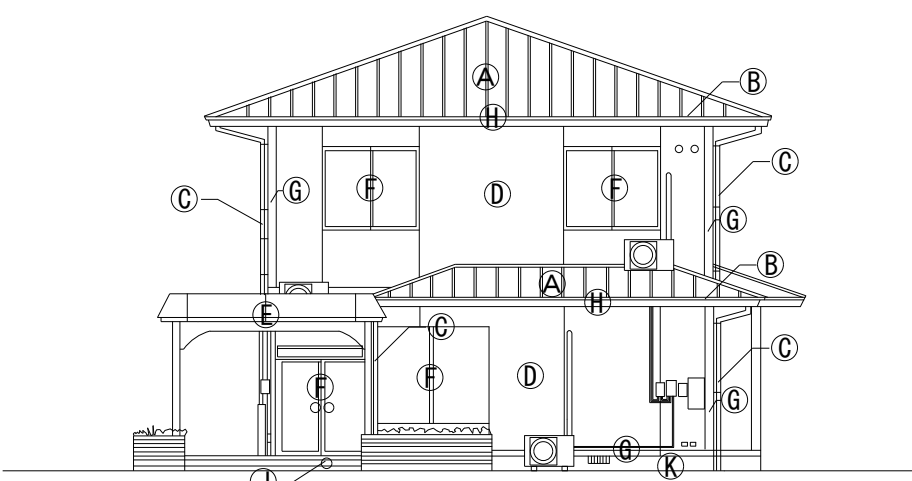
【特記事項】

- ・建物内部に関する改修は当初設計において計画していない。
- ・外壁の改修・塗装に伴い、4箇所の室外機は取り外し・再取り付けを行うこと。
また取り外しをしている時もエアコンは使用できる状態のままの取り外しとすること。

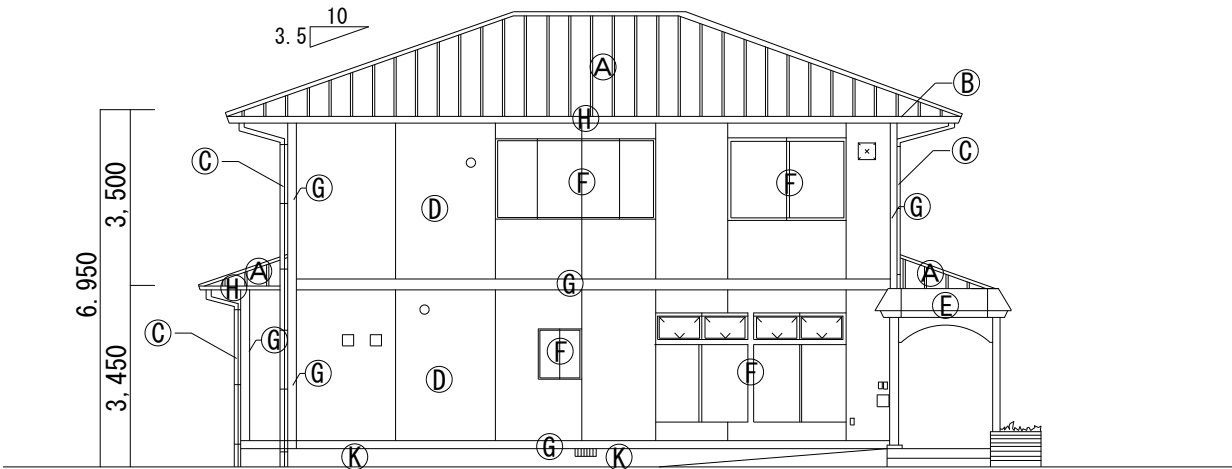
工事名		岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事								
図面		平面図・屋根伏図(改修前・改修後)			縮尺	A3 1:100				
No.		岡山市都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年3月				
A/ 10		担当課長	担当課長	課長補佐	係 長	主 任	担 当	承認	検 図	製 図



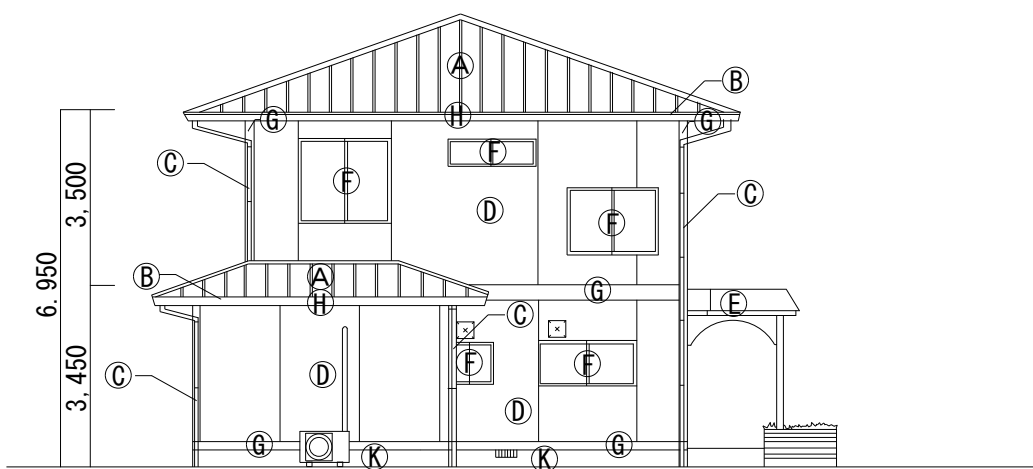
南立面図 S = 1 : 100



西立面図 S = 1 : 100



北立面図 S = 1 : 100



東立面図 S = 1 : 100

符号	対象箇所	屋外改修内容 仕上表【改修前】	屋外改修内容 仕上表【改修後】
Ⓐ	大屋根・下屋根	カラーベスト屋根の上、長尺カラー鋼板t0.5 瓦棒葺きカバー工法(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
Ⓑ	軒樋	ポリエンタルメタル 芯材φ0.4m/m (既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0
Ⓒ	縦樋	塩ビVUφ75・φ60カラー 撤去・処分 掴み金物共	塩ビVPφ75・φ60カラー 新設 エルボ・掴み金物@1,100共
Ⓓ	外壁	ラスモルタル刷毛引き アクリルシロ吹付(既存のまま)	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE(アクリル系)吹付 ひび割れ補修：Vカットシーリング 変成シリコン系シーリングMS-2補修
Ⓔ	玄関庇	屋根：ルーフデッキ カラー鉄板φ0.6m/m(既存のまま) 箱樋：ポリエンタルメタル 芯材φ0.4m/m (既存のまま) パラペット・柱：ステンレス板φ2m/m(既存のまま) 天井：カラーアルミスパンドルφ0.8m/m(既存のまま) アーチ型梁：鉄t=9mm(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0 高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水 密着工法 t=2.0 高圧洗浄15Mpaによる水洗い 高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、DP塗装 高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、DP塗装
Ⓕ	建具廻り	目地部：既存コーキング 撤去・処分	目地部：変成シリコン系シーリングMS-2 打ち替え
Ⓖ	付土台・付柱・付梁	木製0.P(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、WP塗装
Ⓗ	鼻隠し・破風板	木製0.P(既存のまま)	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、WP塗装
Ⓘ	換気フード	南面2階東側のみ撤去・処分1箇所(その他は既存のまま)	SUS製 300角 1箇所(南面2階東側のみ新設 その他は既存のまま)
Ⓙ	玄関ポーチ床	段鼻タイル100角 (既存のまま)	一部剥がれ箇所 タイル補修
Ⓚ	基礎立上り	コンクリート基礎 色モルタルくし目仕上げ	高圧洗浄15Mpa・下地調整の上、撥水材塗料塗り

【特記事項】

- ・建物内部に関する改修は当初設計において計画していない。
- ・外壁の改修・塗装に伴い、4箇所の室外機は取り外し・再取り付けを行うこと。
また取り外しをしている時もエアコンは使用できる状態のままの取り外しとすること。

工事名	岡山市大野コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事						
図面	立面図(改修前・改修後)		縮尺	A3 1:100			
N o.	岡山市都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年3月			
A /	担当課長	担当課長	課長補佐	係長	主任	担当	承認
11							検図
							製図

[illegible]